

## 子ども分野交流会報告

日時 平成30年2月8日(木) 10:00~11:00

場所 とういん市民活動支援センター

参加人数 18人(団体12人 子ども家庭課1人 センター5人)

趣旨 今日はお互いの顔合わせで、今後、団体同士、団体と行政が一緒になって地域の課題解決ができる下地となればいい。

### 参加団体の自己紹介

バンビ: イベント時の託児とふれあいセンター2階の子育て応援ルームの運営を手伝っている。

更生保護女性会東員支部すずらんの会: ミュージックベルの演奏を子育て支援センターや子育て応援ルーム、老人ホームなどで行っている。

東員町社会福祉協議会: バンビ、すずらんの会、個人のボランティア、民生児童委員さんなどと子育て支援ネットを作って一緒に活動している。

東員点訳友の会: 夏休みに子どもの点訳教室を開催している。

東員町母子寡婦福祉会: 交流会を年2回している。

民生児童委員: 子育て支援ネット、すずらんの会で活動。東員町の子育て中の親子を訪問。子育て出前講座ほっとなど、子育て支援センターとの関わりが多い。

ガールスカウト三重第12団: 小学校1年生から中高校生~20歳まで。奉仕活動や野外活動などを行い、自分で考え行動できる子ども達を育成。

長深文庫: 設立から40年。毎週日曜日に文庫を開いて子ども達に本に親しんでもらう活動をしている。年1回文庫まつりを行い、紙芝居や読み聞かせをしている。

東員自然の会: 社会教育課と一緒にいるネイチャークラブのバックアップ。地域にある植物の種を保存し、増やす活動。学校と連携しての体験活動、ホテルのマップ作りなどを行っている。

ファミサポの活動: お母さんや子どもから学ぶことが多い。

子育て支援ネット(個人): 子育て応援ルームの個人ボランティアを月1回担当。子育て出前講座(ほっと)にも参加。

デイズ: 放課後等デイサービスと児童発達支援の事業を行う、デイズ(笹尾東)、デイズ+(大木)を開設している。東員町のことをあまり知らなくて、登録団体活動紹介の冊子を見てたくさんの活動があることを知った。

### 子ども家庭課:

行政は子ども家庭課だけで子どものことをしているわけではなく、障害児者は地域福祉課、保育園・幼稚園・小中学校は教育委員会、と役場全体で子どものことを考えている。その中で子ども家庭課は、子ども・子育て支援事業計画の進捗管理、子どもに関する政策の取りまとめ、児童手当、学童保育所、ファミリーサポートセンター、子育て支援センター、

発達支援等。東員町の特徴は、幼保一体化（認定こども園が法整備される10年以上前から行っている）を教育委員会がやっていることが珍しい。教育委員会にあることで小学校、中学校とスムーズにサポートできている。

#### フリートーク

東員自然の会は、自然体験できる場所を紹介できます

- ・子ども達に自然のことを知ってほしいと町内全小学校1～6年を対象にネイチャーくらぶを年5回開催している。親や先生がついているのであれば自然の中で遊ばせる場所はたくさんあり、紹介したい。また、無料で講師派遣もできる。

⇒学童や、放課後デイの活動に利用したい。

ガールスカウトはイベント等でお手伝いできます

- ・ガールスカウトは、中高生に東員町の象徴になりたいとプロジェクトを立ち上げた。メンバーは小学生12人、中学生4人、高校生4人と若いリーダーがおり、お手伝いできることがあれば声をかけてください。学生なので調整が必要になることから、早目に相談ください。

⇒夏休みの学童保育やイベントの手伝い、司会などお願いしたい。

子育て応援ルームは妊婦さんも来て頂けます

- ・子育て応援ルームは毎週月曜日と水曜日9時～午後3時までふれあいセンターで行っている。午前中12時半までのみボランティアが在室。対象者は、未就園児だけでなく、生まれる前の妊婦さんもOKです。隔月に地域に出て「お茶しませんか」をしている。どの地域からも来ていいということで約30組の方が参加。

⇒スタッフを募集しています。

会員を増やすためのPR啓発活動

- ・夏休み点訳体験をしている。ちょっと体験だと気安く、こんなものかと知ってもらうだけでもいいと思ってやっている。ガールスカウトの若い子がスタッフがてら小さい子に指導してくれるといいなと思っている。

読書登山の取り組みに再広報

- ・長深文庫は教育委員会がやっている読書登山に協力して、本を揃えているが、最初の頃に比べると町のほうの力が入っていないように感じられる。来年度、新しい本がまた加わるということで、町内に周知してほしい。また、他の文庫との連携も。

⇒裾野が広がり、もう一度盛り上がりを見せてほしいという意見があったことを教育委員会や図書館に伝える。

## 放課後等デイについて

- ・地域の学童に入れない方の受け皿になっている。利用者の7割が学校に通っておりちょっとした支援、声かけや助けがあれば、バスに乗ったり、図書館に行ったりできる。いろいろなボランティアさんに入っていたきながら子ども達のことを知っていただきたい。また、子ども達はサッカークラブなどに入りたいし、親さんも入れてあげたいけど、そこでルールが学べない。そんなところでも一緒に関わっていただけるとありがたいです。
- ⇒ガールスカウトの団体で障がい者と一緒にキャンプをしているところもある。調整次第ではお手伝いできるかも。
- ⇒ネイチャーくらぶは、親子参加ですので、良かったら後でご案内します。

## 健康福祉センターの改装について

- ・貸し部屋として使えるのは、今までと同じで、1階のホールと2階の研修室、調理実習室、会議室です。改築した部屋は、役場の発達支援室の事務所が入り、プレイルームもあり、子どもの発達支援関係の相談、子育て相談、女性相談などを行います。

## 発達支援相談のPRについて

- ・子どもの発達で不安を抱えている方へ相談する場所ができたことを積極的にPRしてほしい。
- ⇒広報はこれからですが、微妙な問題なので、どう広報するか難しいところがある。
- ・支援の必要な方が行くところですよという、引く人がいる。
- ⇒赤ちゃん訪問や1歳半、3歳児検診に来たときに積極的に知らせ、また、相談できるように保健師さんと連携。子育て支援センターとも連携。
- ⇒誰でも気軽に寄れる場所だといい。
- ⇒子育て支援の活動をする中で何回も顔を合わせていると相談を受けたり、見ていて少しおかしいなと感じたりしたら、こういうところに相談することができるかと伝えると少し行こうかなと感じていただける。誰でも気軽に参加できる場所があり、そこで声をかけられたら、ちょっとそちらにも行ってみようという気になれる。
- 行政も団体も色々な活動を一度覗いてみると、私たちと繋がれるということも出てくる。

## まとめ

今日をご縁に、関心のある活動のお話を聞いたり、また直接見に行ったりして、ここにこんな活動があると頭の隅においておき、何かあったとき活用できるようなゆるいつながりが、広がっていくといい。